

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2026 年 第 33 週（8 月 10 日～8 月 16 日）

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし		
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	5 人	類型 患者 3 人、無症状病原体保有者 2 人 血清型 O157 4 人、O26 1 人
四類感染症	レジオネラ症	2 人	病型 肺炎型 1 人、 無症状病原体保有者 1 人
五類感染症	急性脳炎	1 人	病原体 インフルエンザウイルス A 型
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2 人	血清群 A 群 2 人
	後天性免疫不全症候群	2 人	病型 A I D S 1 人、 無症状病原体保有者 1 人
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 人	
	侵襲性肺炎球菌感染症	2 人	
	水痘（入院例）	1 人	病型 臨床診断例
	多剤耐性緑膿菌感染症	1 人	
	梅毒	7 人	病型 早期顕症Ⅰ期 3 人、 早期顕症Ⅱ期 3 人、 無症状病原体保有者 1 人
	百日咳	3 人	年齢階級 20 歳代 1 人、30 歳代 1 人、 50 歳代 1 人

※今週は、長期休診等の影響により、診療体制が通常と異なる可能性が考えられます。

今週の定点把握対象疾患の報告医療機関数は、インフルエンザ/COVID-19 及び急性呼吸器感染症が 140 か所（定点数 176）、小児科定点把握疾患が 86 か所（定点数 111）、眼科定点把握疾患が 31 か所（定点数 43）であり、通常と比較して少なくなっています。

＜定点把握疾患の患者情報＞

手足口病（6.16*→4.29:図 1）の定点当たり報告数は、第 29 週をピークに減少が続いているものの、やや高い水準にある。年齢階級別では、1 歳の報告が全体の約 44%と最も多く、2 歳以下の報告が全体の約 77%となっている。インフルエンザ（1.10*→1.70:図 2）の定点当たり報告数は、前週の値を上回った。基幹定点におけるインフルエンザ（入院）の報告数は 6 人（前週 18 人）であった。新型コロナウイルス感染症（1.49*→1.44:図 3）の定点当たり報告数は、前週と同水準であった。基幹定点における新型コロナウイルス感染症（入院）の報告は 9 人（前週 9 人）であった。急性呼吸器感染症（65.59*→55.67:図 4）の定点当たり報告数は、前週の値を下回った。眼科定点報告疾患では、流行性角結膜炎 3 人の報告があった。基幹定点報告疾患では、無菌性髄膜炎 2 人、マイコプラズマ肺炎 14 人（前週 11 人）の報告があった。

*遅れ報告・修正報告を反映した値を掲載

○全国の感染症発生動向に関する情報は、国立健康危機管理研究機構（JHS）感染症情報提供サイト（URL：<https://id-info.jhs.go.jp/>）で御覧になれます。

<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図1 手足口病の定点当たり報告数の推移

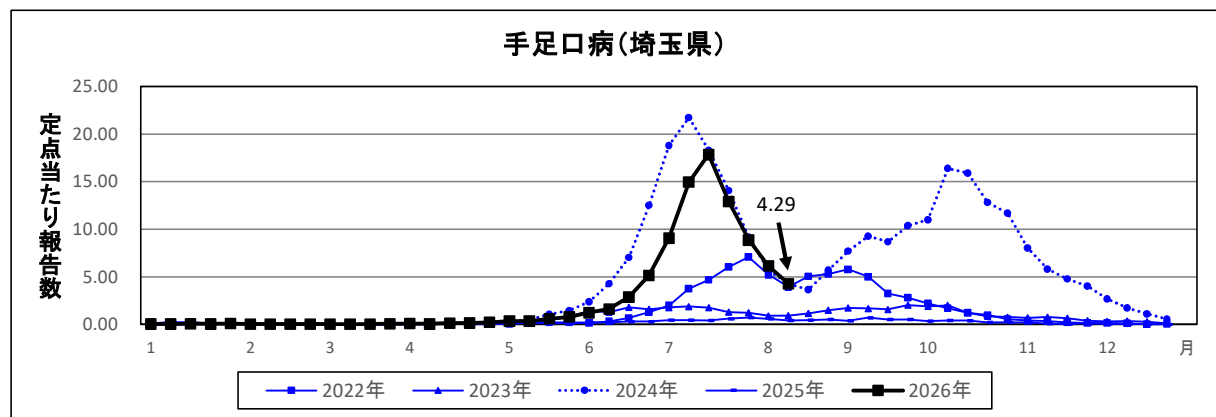


図2 インフルエンザの定点当たり報告数の推移

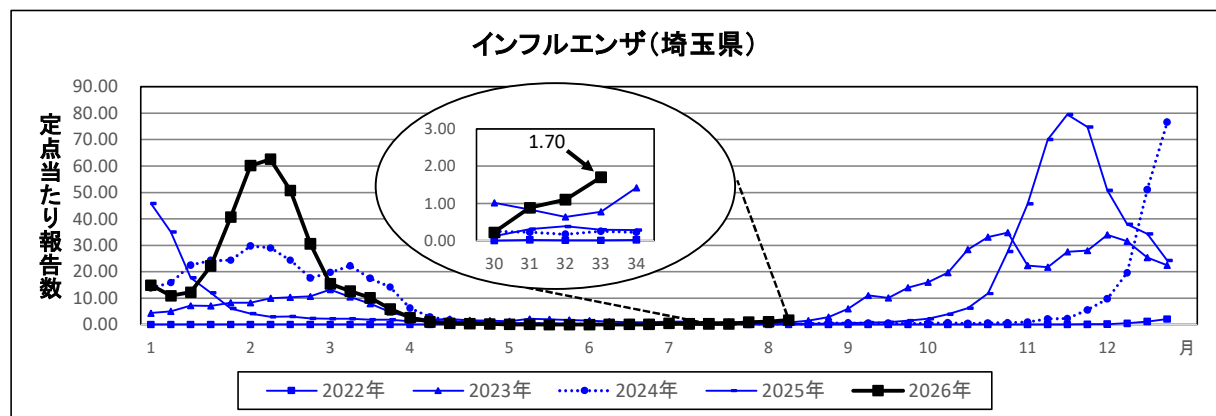


図3 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

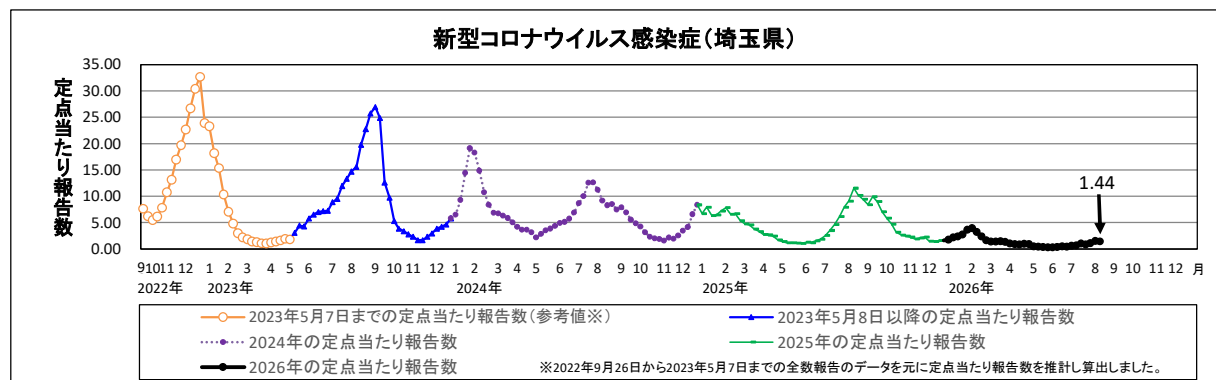
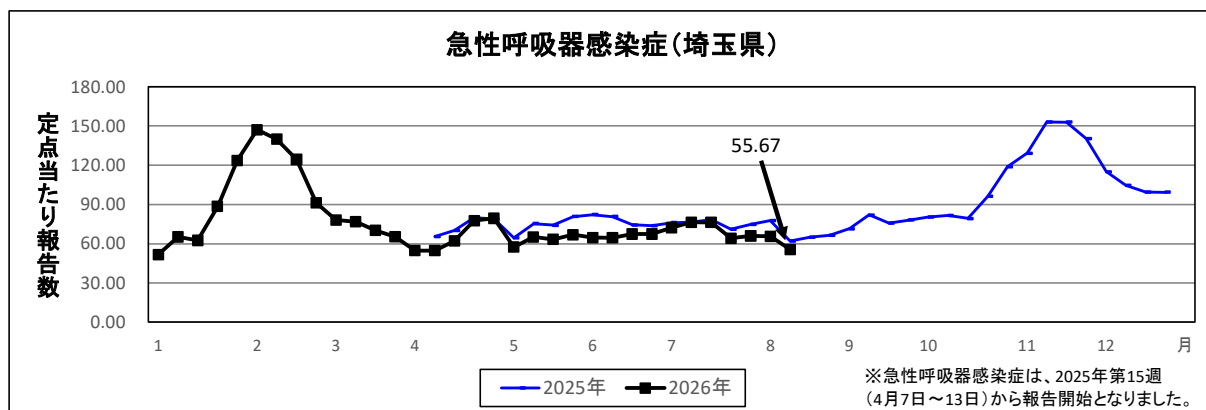


図4 急性呼吸器感染症の定点当たり報告数の推移



急性呼吸器感染症における病原体検出状況は以下のページに掲載しています。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/ari-surveillance.html>

感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第33週)

(2026年8月18日 15:15集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		3
細菌性赤痢		2	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	5	106			
四類感染症					
E型肝炎		50	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		10	ニパウイルス感染症		
エキノкокクス症			日本紅斑熱		
エムボックス			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		1
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	2	100
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱		1	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		19	水痘(入院例に限る)	1	16
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		13	先天性風しん症候群		
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		24	多剤耐性緑膿菌感染症	1	2
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		1	梅毒	7	317
急性脳炎	1	40	播種性クリプトコックス症		3
クリプトスポリジウム症			破傷風		4
クロイツフェルト・ヤコブ病		4	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	39	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1
後天性免疫不全症候群	2	26	百日咳	3	311
ジアルジア症			風しん		
侵襲性インフルエンザ菌感染症	2	27	麻しん		40
侵襲性髄膜炎菌感染症		2	薬剤耐性アシネトバクター 感染症		1
侵襲性肺炎球菌感染症	2	72			

累計は診断週で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

結核届出状況(2026年7月分)

2026年7月の届出総数は、患者47人、無症状病原体保有者25人の計72人であった。前月と比べると患者数は増加し、無症状病原体保有者数は同水準であった。過去1年と比べると、患者数、無症状病原体保有者数ともに多かった。推定感染地域は国内38人、国外14人、不明20人であった。

表1 診断月別の届出数の推移(2025年7月～2026年7月)

2025年*								2026年							
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計**	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	累計***
総計	55	40	48	57	57	51	667	59	51	71	77	51	67	72	448
年齢階級															
10歳未満	0	1	1	0	1	0	14	1	0	0	1	0	0	0	2
10歳代	1	1	0	0	2	2	11	1	1	2	4	0	2	1	11
20歳代	8	6	8	12	9	5	87	9	8	14	18	6	14	19	88
30歳代	5	2	1	5	5	6	48	5	5	3	5	7	11	4	40
40歳代	3	6	4	5	6	1	53	3	5	5	4	5	3	3	28
50歳代	4	4	7	7	5	5	77	10	8	9	7	6	9	7	56
60歳代	10	1	5	2	4	3	61	5	0	4	5	3	6	5	28
70歳代	7	2	9	10	9	10	109	8	5	10	13	6	9	12	63
80歳代	15	12	10	14	12	13	143	14	15	19	15	14	7	14	98
90歳以上	2	5	3	2	4	6	64	3	4	5	5	4	6	7	34
性															
男	33	20	33	29	22	29	379	27	29	44	50	25	39	39	253
女	22	20	15	28	35	22	288	32	22	27	27	26	28	33	195
類型															
患者	38	29	36	37	41	35	439	37	33	46	42	37	43	47	285
感染症死者の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染症死亡疑いの死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
疑似症患者	0	1	0	0	0	0	2	1	1	1	1	1	0	0	5
無症状病原体保有者	17	10	12	20	16	16	226	21	17	24	34	13	24	25	158
病型															
肺結核	24	17	24	21	26	22	280	27	16	29	28	28	29	34	191
肺結核及びその他の結核	4	5	2	6	7	2	52	2	6	6	7	3	2	4	30
その他の結核	10	7	10	10	8	11	107	8	11	11	7	6	12	9	64
疑似症患者	0	1	0	0	0	0	2	1	1	1	1	1	0	0	5
無症状病原体保有者	17	10	12	20	16	16	226	21	17	24	34	13	24	25	158
推定感染地域															
国内	31	18	24	29	34	29	364	31	27	37	45	23	38	38	239
国外	4	6	5	7	8	9	73	10	6	14	13	9	12	14	78
不明	20	16	19	21	15	13	230	18	18	20	19	19	17	20	131

*：2025年の届出数は暫定値

**：2025年1月から12月までの累積届出数

***：2026年1月からの累積届出数

7月に診断された72人を病型別にみると、肺結核は10歳代以上の年齢階級から計34人の報告があり、70歳以上が17人で50%であった。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2026年7月分)

	病 型					総計
	肺結核	肺結核及び その他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体 保有者	
総計	34	4	9	0	25	72
年齢階級						
10歳未満	0	0	0	0	0	0
10歳代	1	0	0	0	0	1
20歳代	11	2	1	0	5	19
30歳代	0	0	0	0	4	4
40歳代	1	0	0	0	2	3
50歳代	2	0	0	0	5	7
60歳代	2	0	1	0	2	5
70歳代	6	0	1	0	5	12
80歳代	5	1	6	0	2	14
90歳以上	6	1	0	0	0	7

感染症発生状況(定点把握対象疾患)				報告患者数				保健所別				(2026年第33週				8月10日～8月16日)									
保健所		インフル エンザ	新型コロナ ウイルス感 染症	急性呼吸器感 染症	RS ウイルス感 染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸 炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発し ん	ヘルパン ギーナ	流行性耳下 腺炎	急性出血性 結膜炎	流行性角結 膜炎	細菌性髄膜 炎	無菌性髄膜 炎	マイコプラズ マ肺炎	クラミジア肺 炎	感染性胃腸 炎	インフルエ ンザ	（入院） 新型コロナウイルス		
		#1															#2			#3					
全 県	報告数	238	201	7,794	50	19	117	261	33	369	2	24	65	2	-	3	-	2	14	-	-	-	6	9	
	定点当たり	1.70	1.44	55.67	0.58	0.22	1.36	3.03	0.38	4.29	0.02	0.28	0.76	0.02	-	0.10	-	0.17	1.17	-	-	-	0.50	0.75	
朝 霞	報告数	46	38	669	-	-	1	11	2	8	-	-	1	-	-	1	-	1	2	-	-	-	3	2	
	定点当たり	3.54	2.92	51.46	-	-	0.17	1.83	0.33	1.33	-	-	0.17	-	-	0.25	-	1.00	2.00	-	-	-	3.00	2.00	
鴻 巣	報告数	36	15	2,380	5	2	55	12	4	65	1	4	7	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*	
	定点当たり	3.27	1.36	216.36	0.83	0.33	9.17	2.00	0.67	10.83	0.17	0.67	1.17	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*	
東 松 山	報告数	12	6	264	-	-	1	31	2	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	定点当たり	4.00	2.00	88.00	-	-	0.33	10.33	0.67	4.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	
秩 父	報告数	5	4	76	1	1	1	-	-	4	-	-	1	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-	-	
	定点当たり	1.25	1.00	19.00	0.33	0.33	0.33	-	-	1.33	-	-	0.33	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-	-	
本 庄	報告数	1	-	12	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	定点当たり	0.50	-	6.00	-	-	-	-	-	0.50	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊 谷	報告数	4	14	150	2	-	2	6	-	7	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	定点当たり	0.44	1.56	16.67	0.40	-	0.40	1.20	-	1.40	-	-	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	
加 須	報告数	5	7	84	-	2	2	-	-	21	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	
	定点当たり	1.00	1.40	16.80	-	0.67	0.67	-	-	7.00	-	-	0.33	-	-	-	-	-	2.00	-	-	-	-	-	
春 日 部	報告数	-	6	100	4	-	1	3	4	7	-	-	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*	
	定点当たり	-	1.50	25.00	2.00	-	0.50	1.50	2.00	3.50	-	-	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*	
幸 手	報告数	18	22	591	13	3	11	19	3	30	-	2	8	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*	
	定点当たり	2.25	2.75	73.88	2.60	0.60	2.20	3.80	0.60	6.00	-	0.40	1.60	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*	
坂 戸	報告数	4	3	212	1	-	3	14	1	15	-	-	1	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	
	定点当たり	1.00	0.75	53.00	0.33	-	1.00	4.67	0.33	5.00	-	-	0.33	0.33	-	-	-	-	2.00	-	-	-	-	1.00	
草 加	報告数	12	11	215	2	1	4	12	2	9	-	2	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*	
	定点当たり	2.00	1.83	35.83	0.40	0.20	0.80	2.40	0.40	1.80	-	0.40	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*	
狭 山	報告数	47	39	544	2	2	4	12	3	14	-	1	3	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	
	定点当たり	4.27	3.55	49.45	0.29	0.29	0.57	1.71	0.43	2.00	-	0.14	0.43	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-	-	-	-	
南 部	報告数	13	9	371	1	-	19	26	2	22	-	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	
	定点当たり	2.60	1.80	74.20	0.33	-	6.33	8.67	0.67	7.33	-	-	2.67	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	1.00	
川 越 市	報告数	9	6	573	-	3	6	7	3	61	-	3	7	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*	
	定点当たり	1.00	0.67	63.67	-	0.60	1.20	1.40	0.60	12.20	-	0.60	1.40	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*	
越 谷 市	報告数	4	3	303	1	1	1	19	2	13	-	1	4	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	
	定点当たり	0.50	0.38	37.88	0.20	0.20	0.20	3.80	0.40	2.60	-	0.20	0.80	-	-	-	-	1.00	1.00	-	-	-	-	-	
川 口 市	報告数	7	7	473	9	1	2	71	2	43	-	7	14	1	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	
	定点当たり	0.78	0.78	52.56	1.50	0.17	0.33	11.83	0.33	7.17	-	1.17	2.33	0.17	-	-	-	-	3.00	-	-	-	1.00	-	
さいたま市	報告数	15	11	777	9	3	4	18	3	37	1	4	5	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	3	
	定点当たり	0.52	0.38	26.79	0.53	0.18	0.24	1.06	0.18	2.18	0.06	0.24	0.29	-	-	-	-	-	2.00	-	-	-	2.00	3.00	

(- : 0.00)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

8月 18日 13:45 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)				報 告 患 者 数				年 齢 別				(2026年第33週				8月10日～8月16日)							
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～		
インフルエンザ #1	238	1	5	5	7	14	10	9	12	16	6	5	33	12	15	21	26	20	8	9	4		
新型コロナウイルス感染症	201	4	4	11	5	11	4	2	9	6	2	4	13	9	25	25	16	21	16	10	4		
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～										
急性呼吸器感染症	7,794	539	2,800	1,401	595	352	407	448	348	338	226	193	147										
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～								
RSウイルス感染症	50	4	13	18	9	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-								
咽頭結膜熱	19	-	-	7	3	4	2	3	-	-	-	-	-	-	-								
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	117	-	-	5	6	12	7	9	14	8	3	6	16	3	28								
感染性胃腸炎	261	1	30	35	38	24	17	17	17	19	12	8	23	7	13								
水痘	33	-	-	1	2	3	2	1	7	2	3	3	9	-	-								
手足口病	369	9	42	162	71	31	20	7	7	5	2	2	7	-	4								
伝染性紅斑	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-								
突発性発しん	24	1	-	16	3	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-								
ヘルパンギーナ	65	2	3	22	12	8	6	5	2	-	1	1	2	-	1								
流行性耳下腺炎	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-								
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～			
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
流行性角結膜炎	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-			
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～						
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
無菌性髄膜炎	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
マイコプラズマ肺炎	14	-	3	4	4	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-						
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
インフルエンザ(入院)	6	-	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2						
新型コロナウイルス感染症(入院)	9	1	2	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	1	2						

※ 表中の数値は各定点からの報告数（-：0）

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

感染症発生動向調査 2026年

- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第1週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第2週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第3週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第4週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第5週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第6週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第7週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第8週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第9週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第10週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第11週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第12週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第13週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第14週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第15週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第16週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第17週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第18週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第19週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第20週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第21週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第22週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第23週](#)

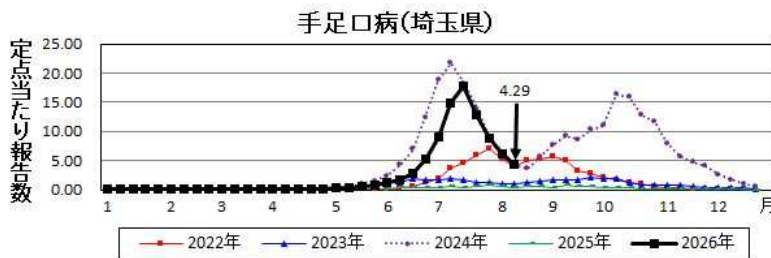
感染症の流行状況 2026年 第33週

2026年第33週（8月10日～8月16日）の要点

定点把握対象疾患（[手足口病](#)）

定点当たり報告数は、第29週をピークに減少が続いているものの、やや高い水準です。

感染予防のため、[咳エチケット](#)、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心掛けてください。また、体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	↑	★★	手足口病	↓	★★
新型コロナウイルス感染症	→	—	伝染性紅斑（りんご病）	→	★
急性呼吸器感染症	↓	—	突発性発しん	→	★
RSウイルス感染症	↓	★★	ヘルパンギーナ	↓	★★
咽頭結膜熱（プール熱）	→	★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	★	急性出血性結膜炎	→	★
感染性胃腸炎	↓	★	流行性角結膜炎	→	★
水痘（みずぼうそう）	→	★			

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。（→:増減無し、↑:増加、↓:減少）*3.流行状況は今週の流行を示します。（小さい←★、★★、★★★→大きい）*4.2025年第14週から定点医療機関の指定数が増えとなりました。疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。また、全国の感染症発生動向状況については、国立健康危機管理研究機構のホームページ「[感染症情報提供サイト](#)」でご覧になれます。

